

令和7年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和7年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	大阪樟蔭女子大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	大阪
大学全体の総収容定員	2,700 名 ※令和6年5月1日時点		
学部学科 組織構成	学芸学部（リベラルアーツ学科（令和7年度開設）、国文学科、国際英語学科、心理学科、ライフプランニング学科、化粧ファッション学科）、児童教育学部（児童教育学科）、健康栄養学部（健康栄養学科）		
事業計画名	大阪樟蔭女子大学 応用生物科学部 設置計画		

2. 事業概要

本学では、食品と化粧品のいずれかを自然科学の観点から学修し、健康・医療、食糧の課題解決に貢献可能な女性を育成するための2つのコースを擁する応用生物科学部（仮称）を設置する。フードサイエンスコース（仮称）では、食品機能学、食品製造学等を学び、食を通しての健康促進や将来の食糧危機の解決に貢献する人材を育成する。コスメティックサイエンスコース（仮称）では、化粧品科学、天然物化学等を学び、より高い安全性を持つ化粧品開発のほか、がん患者向けのアピランス支援を含めた福祉、医療方面への活用が可能な化粧品の開発に貢献する人材を育成する。基礎知識として生物学や化学を修得することで、両コースの学びに必須である生化学、有機化学、分子生物学に関する知見を深めた上でコース選択を行い、専門的な学びを実現するほか、食品・化粧品の扱う企業と連携し、インターンシップや講義・セミナーの共同開催を実施することで、実践的な学びを提供可能なカリキュラムを構築する。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和11年度				
認可申請・届出の別	認可申請				
改組内容	学部の新設				
設置等組織名	応用生物科学部				
設置等組織の学位分野	理学関係	農学関係	-	-	-
当該学部等の所在地	大阪府東大阪市				
入学定員	新設予定				
収容定員	新設予定				
入学定員の増加数	80 名				
他学部等の入学定員の減少数	80 名				

事業計画名	大阪樟蔭女子大学 応用生物科学部（仮称） 設置計画				
基本情報					
改組予定年度	令和11年度	設置等組織名	応用生物科学部(仮称)	入学定員増数(合計数)	80名
所在地	大阪府東大阪市	改組内容	学部の新設	入学定員減数(合計数)	80名

<社会や地域のニーズ・課題>

- ・第6期科学技術イノベーション基本計画における府省横断的に推進すべき分野として、バイオテクノロジー、健康・医療、食糧等の課題が挙げられている。
- ・特に健康・医療に関しては、少子高齢化が進む日本においては高い需要があり、技術革新や課題解決が求められる分野である。
- ・女性の理系進出が求められており、女子大学の理系学部新設は社会ニーズに合致する。

<設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>

- ・自然科学の観点から、健康・医療、食糧について学が2コース（フードサイエンスコース、コスメティックサイエンスコース）を擁する学部を新設する。
- ・フードサイエンスコースでは、食品機能学、食品製造学等を学び、食を通しての健康促進や、将来の食糧危機を解決する手段について学が。
- ・コスメティックサイエンスコースでは、化粧品科学、天然物化学等を学び、高い安全性に加え、がん患者向けのアピランス支援を含めた福祉、医療方面への活用が可能な化粧品の開発について学が。

<教育内容・育成する人材像>

- ・フードサイエンスおよびコスメティックサイエンスの最先端技術を理解し、食糧危機や福祉・医療問題などの将来的な課題解決のための技術を学修し、それらの課題の解決に貢献する人材を育成する。
- ・基礎知識として生物学や化学を修得することで、両コースの学びに必須である生化学、有機化学や分子生物学に関する知見を深めた上でコース選択を行い、より専門的な学びを実現するカリキュラムとする。
- ・食品や化粧品に対する専門知識を持ち、ITや最新テクノロジーの応用に対応可能な人材を育成するために、広く教養を涵養する全学部共通科目、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の認定を受けた情報処理科目、製造現場の見学や現場での取組を直に体験する科目をカリキュラムに組み込んだ、基礎知識から現場での応用を網羅した体系的な学びを実現する。

<連携を通じた教育体制の整備>

- ・食品と化粧品を扱う企業から講師を招待し、各コースの授業を担当いただくことで、各分野で直面している課題や最新の技術について知識を深める教育を実施する。
- ・インターンシップを通して企業と学生の交流を図り、現場で実践的な教育を実施する。
- ・理系学部を擁する近隣大学と連携し、分析機器の共有や授業の単位互換を実施する。

<多様な入学者の確保>

- ・近隣の高等学校の生徒を対象に、出張講義や大学案内を実施し、本学および本学部に対する興味を深めてもらう機会を設定する。
- ・将来的に大学院を設置し、より実践的・専門的な教育を行うことにより、近隣の女子大学を含む他大学の学部卒業生や、社会人学生を積極的に受け入れる予定である。

